

## タンブリングバーン「接続キット」引きバネ版 取り扱い説明書

お買いあげありがとうございます。以下の手順により調節してからご利用下さい。

1、調節手順（ご使用になる前に各バーンの長さに応じたロープの調節が必要です。ここでは標準の5枚一組について説明しています。）

- ①タンブリングバーンを順次並べていきますが、その時板と板の間に「H型金具」を両サイド（外端）に近い場所に2枚づつはさんでいきます。5枚の板ですと4カ所、合計8個使用します。
- ②次にロープの長さを最初の一回だけ調節します。このキットのロープ類は通常、板の下にセットしますが、調整の時は容易にするため板の上に置いて下さい。
- ③「コの字型金具」に長いロープを「もやい結び」で結び、一枚目の板の端にはめ、5枚目の板の方へ伸ばして置きます。この時おおよその長さ（別紙参照／短いロープも含めた全長が板の長さより30cm短い長さぐらい）で「もやい結び」（別紙図参照／難しければ他の方法でも可）で結びます。ロープの伸縮度等により長さの調整が必要となりますので、あくまで30cmは目安として下さい。
- ④次にその長いロープのもう一方の端を「引きバネ」に結びます。（別紙図参照）。この時予めパイプ丸カバーを通しておきます。結び目はカバーの中に入らないように少し長めの場所で結ぶのがコツです。
- ⑤もう1個の「コの字型金具」に短い方のロープの端を「もやい結び」で結びます。もう一方の端を④と同じようにパイプ丸カバーを通し引きバネのもう一方に「もやい結び」で結びます。この時板を5枚並べた長さより少し短めになっていることが重要です。
- ⑥2個目の「コの字型金具」にさらに引き寄せのためのロープを輪状にして「もやい結び」で結びます。
- ⑦引き寄せ輪ロープを両手で引っ張ってギリギリの所で5枚目の板の端に「コの字型金具」の端を引っかけられたら1本は完了です。長さが合わない場合はどこかの結び目で調整が必要です。調整がうまくいきましたらもう1本も同じように結び調整します。できれば左右均等の調節が必要です。

## 2、調節後のセット（ご使用）方法

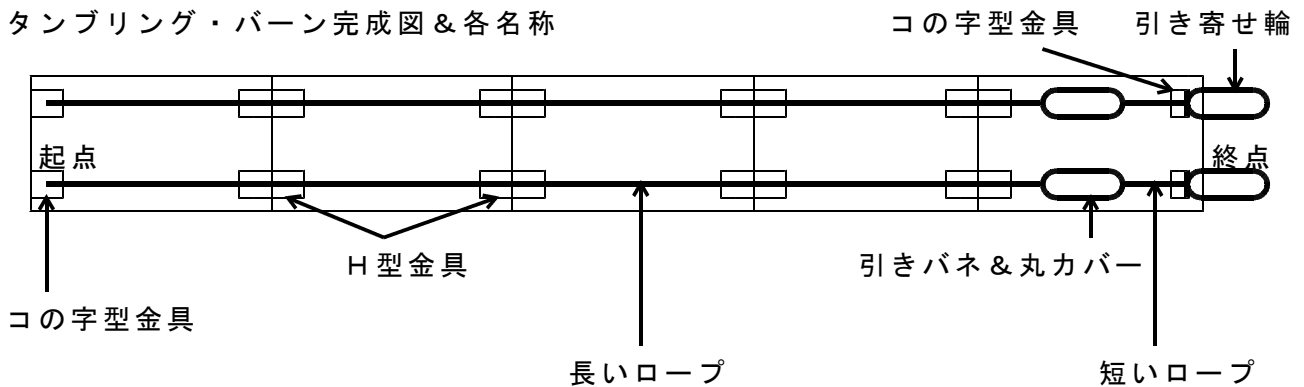
注意 \* H型金具はゴムチップの邪魔にならない外側へセットして下さい。

\* ロープもゴムチップとゴムチップの間のできるだけ外側にセットして下さい。

- ①引き寄せ輪の付いていない方（長いロープ）のコの字型金具を、板を並べる起点へ置き、ロープを伸ばして終点の方へ引き寄せ輪の付いたコ字型金具を置く。2本平行に並べる。
- ②1枚目の板を起点のコ字型金具の上に置き、端をはめる。
- ③H型金具を2個づつはめながら、2枚目～5枚目と同じ事を繰り返す。
- ④引き寄せ輪を5枚目の板の外側に出して、足で板の端を押さえながら引き寄せ輪を手にとって引っ張り、コ字型金具を5枚目の板の外側端にかける。
- ⑤最後に板の上にロングマット等をかぶせて完成です。

注意 \* バーンの上には必ずマット等を敷いて下さい。軽いカーペット等ですと、強い蹴りをした場合、一瞬ずれる事が考えられますが実質上問題ありません。

タンブリング・バーン完成図&各名称



\* 板は4・8の(1200mm×2400mm×15mm)コンパネを使うと良いと思います。通常1枚の板に5列×8列の40個のゴムチップ使用が標準です。ゴムは最高の接着力を得るためには、塗り伸ばした後少し乾燥させてから圧着して下さい。できれば24時間圧をかけながら(板を重ねて置いておく)動かさないようにして下さい。

タンブリング・バーン引き寄せ図

